

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	無期限（1998年7月31日設定）	
運用方針	ファミリーファンド方式により、高水準かつ安定的なインカム・ゲインの確保とともに信託財産の成長をはかることを目的として運用を行います。	
主要運用対象	ベビーファンド	ユーロ・ソブリン・オープン マザーファンド受益証券
	マザーファンド	EU加盟国の信用度の高い（A格以上）公社債
運用方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・EU加盟諸国の信用度の高い公社債に投資を行います。</li> <li>・ソブリン債券を中心とした公社債からの長期的に安定した利子収入の確保とともに、信託財産の成長を目指します。</li> </ul>	
主な組入制限	ベビーファンド	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マザーファンドへの投資は、制限を設けません。</li> <li>・外貨建資産への実質投資は、制限を設けません。</li> </ul>
	マザーファンド	外貨建資産への投資は、制限を設けません。
分配方針	毎年1, 3, 5, 7, 9, 11月の5日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。分配対象額の範囲は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。基準価額水準・市況動向等を勘案して、分配金額を決定します。（ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わない場合もあります。）	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。  
 ※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。  
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

## 運用報告書（全体版）

### ユーロ・ソブリン・オープン



第116期（決算日：2018年1月5日）  
 第117期（決算日：2018年3月5日）  
 第118期（決算日：2018年5月7日）



#### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。  
 さて、お手持ちの「ユーロ・ソブリン・オープン」は、去る5月7日に第118期の決算を行いましたので、法令に基づいて第116期～第118期の運用状況をまとめてご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



### 三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号  
 ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用フリーダイヤル **0120-151034**  
 （受付時間：営業日の9:00～17:00、土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客様の取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○最近15期の運用実績

決算期	基準価額			FTSE 欧州世界国債インデックス		債組入比率	債券先物比率	純資産総額
	(分配落)	税込分配金	期騰落率	(円ベース)	期騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
104期(2016年1月5日)	7,136	50	△2.5	631.48	△2.7	97.4	—	1,908
105期(2016年3月7日)	6,979	50	△1.5	621.70	△1.5	96.8	—	1,860
106期(2016年5月6日)	6,797	50	△1.9	609.72	△1.9	97.4	—	1,808
107期(2016年7月5日)	6,402	50	△5.1	584.22	△4.2	97.1	—	1,686
108期(2016年9月5日)	6,495	50	2.2	597.34	2.2	96.9	—	1,708
109期(2016年11月7日)	6,224	50	△3.4	571.88	△4.3	96.7	—	1,610
110期(2017年1月5日)	6,491	50	5.1	607.19	6.2	97.0	—	1,664
111期(2017年3月6日)	6,314	50	△2.0	594.55	△2.1	96.4	—	1,612
112期(2017年5月8日)	6,448	50	2.9	612.50	3.0	97.4	—	1,631
113期(2017年7月5日)	6,570	50	2.7	631.96	3.2	97.6	—	1,619
114期(2017年9月5日)	6,669	50	2.3	645.17	2.1	97.6	—	1,630
115期(2017年11月6日)	6,734	50	1.7	661.53	2.5	96.9	—	1,611
116期(2018年1月5日)	6,854	50	2.5	676.29	2.2	97.6	—	1,624
117期(2018年3月5日)	6,438	50	△5.3	642.91	△4.9	97.2	—	1,525
118期(2018年5月7日)	6,421	50	0.5	651.77	1.4	96.8	—	1,518

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) FTSE 欧州世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、欧州主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額比率で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

(注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年 月 日	基準 価 額		F T S E 欧州世界国債 インデックス (円ベース)		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率
		騰 落 率	騰 落 率				
第116期	(期 首) 2017年11月6日	円 6,734	% —	661.53	% —	% 96.9	% —
	11月末	6,746	0.2	661.40	△0.0	97.1	—
	12月末	6,848	1.7	670.65	1.4	96.8	—
	(期 末) 2018年1月5日	6,904	2.5	676.29	2.2	97.6	—
第117期	(期 首) 2018年1月5日	6,854	—	676.29	—	97.6	—
	1月末	6,725	△1.9	667.85	△1.2	97.3	—
	2月末	6,535	△4.7	650.85	△3.8	97.2	—
	(期 末) 2018年3月5日	6,488	△5.3	642.91	△4.9	97.2	—
第118期	(期 首) 2018年3月5日	6,438	—	642.91	—	97.2	—
	3月末	6,537	1.5	658.80	2.5	96.9	—
	4月末	6,580	2.2	663.76	3.2	96.1	—
	(期 末) 2018年5月7日	6,471	0.5	651.77	1.4	96.8	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

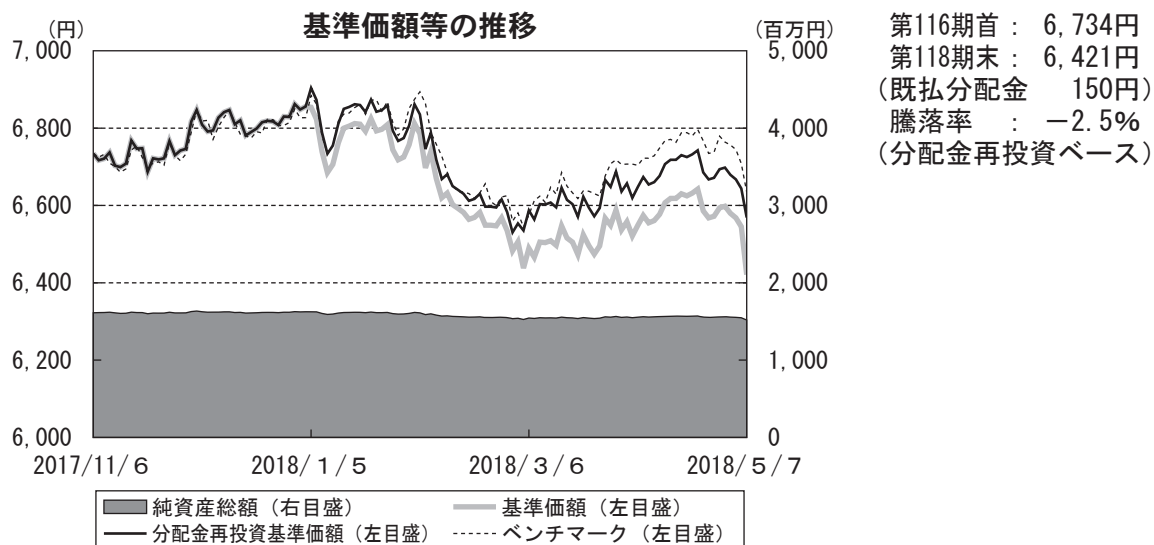
(注) 当ファンドは親投資信託を組み合わせるので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

## 運用経過

当作成期中の基準価額等の推移について (第116期～第118期：2017/11/7～2018/5/7)

基準価額の動き	基準価額は当作成期首に比べ2.5% (分配金再投資ベース) の下落となりました。
ベンチマークとの差異	ファンドの騰落率は、ベンチマークの騰落率 (-1.5%) を1.0% 下回りました。



・分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

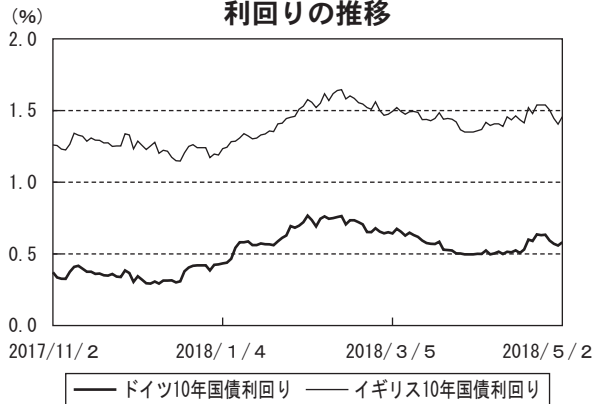
**!** 実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

## 基準価額の主な変動要因

上昇要因	債券の利息収入を享受したことが、基準価額の上昇要因となりました。
下落要因	ユーロ、英ポンドが対円で下落したことや、ドイツやイギリスなどの金利が上昇したことが、基準価額の下落要因となりました。

## 投資環境について

(第116期～第118期：2017/11/7～2018/5/7)

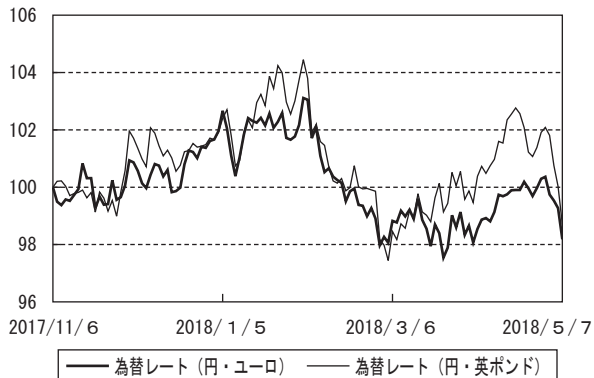


(注) 現地日付ベースで記載しております。

## ◎欧州債券市況

・ドイツやイギリスの長期金利は上昇しました。

ドイツやイギリスの長期金利は、2017年12月にかけて概ね横ばいで推移していましたが、2018年1月に、欧州中央銀行（ECB）が開催した2017年12月の理事会の議事内容が公表され、現行の資産購入プログラム（APP）や政策金利のガイダンスを早期に変更する可能性が議論されたことと市場が受け止めたことなどから、上昇に転じました。その後、2018年2月に公表された1月のECB理事会の議事録の内容や、3月に開催されたECB理事会において、インフレ見通しに対して慎重な姿勢が示され、現行の緩和的な金融政策を忍耐強く維持する方針が確認できたことなどから、ドイツやイギリスの長期金利は低下に転じたものの、作成期を通じてみるとドイツやイギリスの長期金利は上昇しました。

為替市況の推移  
(当作成期首を100として指数化)

## ◎為替市況

・ユーロや英ポンドは対円で下落しました。

ユーロや英ポンドは、2018年1月の金利上昇局面において、本邦との金利差が拡大したことなどから対円で上昇しました。その後、2月に世界的に株価などの資産価格が大きく下落し、投資家のリスクセンチメントが悪化したことなどをを受けて、対円で下落しました。結果、作成期を通じてみると、ユーロや英ポンドは対円で下落しました。

## 当該投資信託のポートフォリオについて

**i** 期間中にどのような運用をしたかを確認できます。

### <ユーロ・ソブリン・オープン>

- ・ユーロ・ソブリン・オープン マザーファンド受益証券の組入比率を高位に保ちました。

### <ユーロ・ソブリン・オープン マザーファンド>

基準価額は当作成期首に比べ1.9%の下落となりました。

- ・EU加盟国の国債・政府保証債、事業債等、信用度の高い公社債（A格以上）を主要投資対象とし、これらの債券を高位に組み入れて運用を行いました。
- ◎国別資産配分
  - ・作成期を通じて、相対的に高い金利水準にあると判断したポーランドをベンチマーク比オーバーウェイトとした一方、ドイツなどを同アンダーウェイトで維持しました。
  - ・また、2018年3月下旬に、大手格付会社がスペインの自国通貨建て長期債務格付を「BBB+」から「A-」に引き上げたことに伴い、4月以降、スペイン国債の組み入れを再開しました。
- ◎デュレーション（金利感応度）
  - ・2017年11月にかけては、ECBによる緩和的な金融政策の継続を見込み、ファンドのデュレーションをベンチマーク比長めとしました。その後、欧州長期金利の低下を受けて、12月に、ファンドのデュレーションをベンチマーク比長めから中立に変更しました。
- ※デュレーション
 

「金利変動に対する債券価格の変動性」を示すもので、債券はデュレーションが大きいほど、金利変動に対する価格の変動が大きくなる傾向があります。
- ◎為替取引
  - ・作成期首は、景気が底堅く推移していることなどから、6.9%程度のユーロ及び0.5%程度のスウェーデンクローネ買い、EU離脱を巡る不透明感などから5.0%程度の英ポンド売り、2.5%程度のポーランドズロチ売りとしました。
  - ・作成期末は、イギリスのEUからの強硬離脱に対する懸念が和らいだことなどを背景に、3.9%程度の英ポンド買い、1.7%程度のユーロ買いとした一方、5.6%程度のポーランドズロチ売りとしました。
- ◎信用格付
  - ・信用度の高いA格以上の公社債を主要投資対象としています。
- ・前記の運用を行った結果、ユーロや英ポンドが対円で下落したことや、ドイツやイギリスなどの金利が上昇したことなどから、基準価額は下落しました。

(ご参考)  
**ポートフォリオの状況**  
 作成期首 (2017年11月6日)

	マザーファンド	ベンチマーク
平均終利	0.65%	—
平均直利	2.22%	—
デュレーション	8.3	8.1

作成期末 (2018年5月7日)

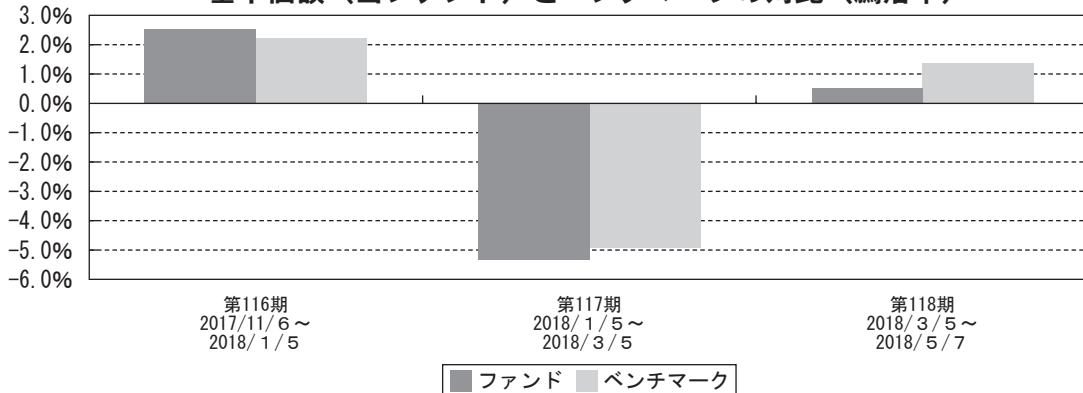
	マザーファンド	ベンチマーク
平均終利	0.89%	—
平均直利	1.88%	—
デュレーション	8.5	8.2

- ・平均終利 (複利最終利回り) とは、償還日までの利子とその再投資収益および償還差損益も考慮した利回り (年率) をいいます。
- ・平均直利 (直接利回り) とは、利子収入部分にのみ着目した利回り。債券価格に対する利子の割合 (年率) をいいます。

**当該投資信託のベンチマークとの差異について** (第116期～第118期: 2017/11/7～2018/5/7)

**i** **ベンチマークまたは参考指数と比較することで、期間中の運用内容を評価することができます。**

**基準価額 (当ファンド) とベンチマークの対比 (騰落率)**



- ・ファンドの騰落率は分配金込みで計算しています。

**<ユーロ・ソブリン・オープン>**

- ・基準価額は当作成期首に比べ、2.5% (分配金再投資ベース) の下落となり、ベンチマークの騰落率 (-1.5%) を1.0%下回りました。

**<ユーロ・ソブリン・オープン マザーファンド>**

- ・基準価額は当作成期首に比べ、1.9%の下落となり、ベンチマークの騰落率 (-1.5%) を0.4%下回りました。
- ・2017年12月にかけてポーランドズロチが対円で上昇するなか、ポーランドズロチをベンチマーク比オーバーウェイトとしていたことなどがプラスに寄与しました。
- ・作成期を通じてイタリア国債やスペイン国債のドイツ国債に対する金利スプレッド (利回り格差) が縮小したなか、作成期を通じてイタリアを非保有としたこと、また2018年3月までスペインを非保有としたことなどがマイナスに影響しました。

## 分配金について

**i** 分配金の内訳および翌期繰越分配対象額（翌期に繰越す分配原資）がどの程度あるかを確認できます。

収益分配金につきましては、基準価額水準・市況動向等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

### 【分配原資の内訳】

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	第116期	第117期	第118期
	2017年11月7日～ 2018年1月5日	2018年1月6日～ 2018年3月5日	2018年3月6日～ 2018年5月7日
当期分配金	50	50	50
（対基準価額比率）	0.724%	0.771%	0.773%
当期の収益	22	10	16
当期の収益以外	27	39	33
翌期繰越分配対象額	1,023	984	951

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。



## 今後の運用方針 (作成対象期間末での見解です。)

### <ユーロ・ソブリン・オープン>

- ・引き続き、ユーロ・ソブリン・オープン マザーファンド受益証券を主要投資対象として運用を行います。マザーファンドの組入比率を高位に保つ方針です。

### <ユーロ・ソブリン・オープン マザーファンド>

#### ◎運用環境の見通し

- ・当面の欧州長期金利は概ねもみ合う展開が想定されます。欧州では、景気は底堅く推移している一方で、賃金上昇圧力が限定的なため、今後もインフレ圧力は抑制されるものと考えます。また、ECBは引き続き現行の緩和的な金融政策方針を維持し、債券市場の需給環境は良好なことが見込まれます。  
また、当面のイギリス長期金利は概ねもみ合う展開が想定されます。イギリスでは、賃金上昇圧力の高まり等を背景に、利上げ観測が高まりやすい状況にあります。一方で、EU離脱交渉の動向によっては、金融政策の見通しに変化する可能性もある点には留意が必要だと考えます。
- ・為替市場では、ユーロ圏の景気が底堅く推移していることなどから、ユーロは対円で概ね堅調に推移すると考えます。また、英ポンドについては、EU離脱交渉の動向などはリスク要因となるものの、利上げ期待等を背景に、対円で底堅い推移が期待されます。

#### ◎今後の運用方針

##### 国別資産配分

- ・現行の方針を基本に、各国の景気動向や財政状況、政治動向、政策対応などを重視した国・銘柄選別に注力します。
- ・ソブリン債以外では、事業債に関しては取り巻く環境等を勘案し、ウエイトを調整する方針です。

##### デュレーション（金利感応度）

- ・前記の運用環境の見通しに基づき、長期金利への影響が大きい景気その他の諸条件を考慮し、デュレーションなどのコントロールを行います。

##### 為替取引

- ・引き続き、今後の為替動向を見極め、機動的にポジションを構築していく方針です。

##### 信用格付

- ・引き続き、投資環境を見極め、信用格付けの高い銘柄を中心に組み入れていく方針です。

○1万口当たりの費用明細

(2017年11月7日～2018年5月7日)

項 目	第116期～第118期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円	%	(a)信託報酬＝作成期中の平均基準価額×信託報酬率× (作成期中の日数÷年間日数)
( 投 信 会 社 )	(23)	(0.351)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
( 販 売 会 社 )	(13)	(0.189)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
( 受 託 会 社 )	( 2 )	(0.027)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用	1	0.022	(b)その他費用＝作成期中のその他費用÷作成期中の平均受益権口数
( 保 管 費 用 )	( 1 )	(0.020)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
( 監 査 費 用 )	( 0 )	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
合 計	39	0.589	
作成期中の平均基準価額は、6,661円です。			

(注) 作成期間の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2017年11月7日～2018年5月7日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	第116期～第118期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
ユーロ・ソブリン・オープン マザーファンド	千口 13,493	千円 30,999	千口 41,146	千円 94,787

## ○利害関係人との取引状況等

(2017年11月7日～2018年5月7日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○組入資産の明細

(2018年5月7日現在)

### 親投資信託残高

銘	柄	第115期末	第118期末	
		口数	口数	評価額
		千口	千口	千円
ユーロ・ソブリン・オープン	マザーファンド	698,491	670,838	1,513,479

## ○投資信託財産の構成

(2018年5月7日現在)

項	目	第118期末	
		評価額	比率
		千円	%
ユーロ・ソブリン・オープン	マザーファンド	1,513,479	98.7
コール・ローン等、その他		19,479	1.3
投資信託財産総額		1,532,958	100.0

(注) ユーロ・ソブリン・オープン マザーファンドにおいて、作成期末における外貨建純資産（1,523,097千円）の投資信託財産総額（1,592,880千円）に対する比率は95.6%です。

(注) 外貨建資産は、作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、作成期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=108.95円	1 ユーロ=130.32円	1 イギリスポンド=147.53円	1 スウェーデンクローネ=12.37円
1 ポーランドズロチ=30.72円			

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第116期末	第117期末	第118期末
	2018年1月5日現在	2018年3月5日現在	2018年5月7日現在
	円	円	円
(A) 資産	1,639,342,580	1,539,972,497	1,532,958,171
コール・ローン等	19,457,152	19,354,038	19,466,346
ユーロ・ソブリン・オープン マザーファンド(評価額)	1,619,628,293	1,520,618,459	1,513,479,651
未収入金	257,135	—	12,174
(B) 負債	14,875,047	14,766,672	14,872,219
未払収益分配金	11,850,897	11,844,631	11,821,616
未払信託報酬	3,012,659	2,910,938	3,039,013
未払利息	34	34	34
その他未払費用	11,457	11,069	11,556
(C) 純資産総額(A-B)	1,624,467,533	1,525,205,825	1,518,085,952
元本	2,370,179,590	2,368,926,255	2,364,323,354
次期繰越損益金	△ 745,712,057	△ 843,720,430	△ 846,237,402
(D) 受益権総口数	2,370,179,590口	2,368,926,255口	2,364,323,354口
1万口当たり基準価額(C/D)	6,854円	6,438円	6,421円

## ○損益の状況

項 目	第116期	第117期	第118期
	2017年11月7日～ 2018年1月5日	2018年1月6日～ 2018年3月5日	2018年3月6日～ 2018年5月7日
	円	円	円
(A) 配当等収益	△ 661	△ 718	△ 673
支払利息	△ 661	△ 718	△ 673
(B) 有価証券売買損益	43,263,188	△ 83,656,999	10,693,182
売買益	43,477,707	125,296	10,963,978
売買損	△ 214,519	△ 83,782,295	△ 270,796
(C) 信託報酬等	△ 3,024,116	△ 2,922,007	△ 3,050,569
(D) 当期損益金(A+B+C)	40,238,411	△ 86,579,724	7,641,940
(E) 前期繰越損益金	△ 120,505,257	△ 91,678,154	△ 188,865,560
(F) 追加信託差損益金	△ 653,594,314	△ 653,617,921	△ 653,192,166
(配当等相当額)	( 82,801,780)	( 83,408,651)	( 83,921,864)
(売買損益相当額)	(△736,396,094)	(△737,026,572)	(△737,114,030)
(G) 計(D+E+F)	△ 733,861,160	△ 831,875,799	△ 834,415,786
(H) 収益分配金	△ 11,850,897	△ 11,844,631	△ 11,821,616
次期繰越損益金(G+H)	△ 745,712,057	△ 843,720,430	△ 846,237,402
追加信託差損益金	△ 653,594,314	△ 653,617,921	△ 653,192,166
(配当等相当額)	( 82,811,266)	( 83,418,597)	( 83,931,858)
(売買損益相当額)	(△736,405,580)	(△737,036,518)	(△737,124,024)
分配準備積立金	159,852,632	149,890,222	140,965,117
繰越損益金	△ 251,970,375	△ 339,992,731	△ 334,010,353

(注) (B) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

## &lt;注記事項&gt;

- ① 作成期首(前作成期末)元本額 2,393,384,988円  
 作成期中追加設定元本額 29,972,758円  
 作成期中一部解約元本額 59,034,392円  
 また、1口当たり純資産額は、作成期末0.6421円です。

② 純資産総額が元本額を下回っており、その差額は846,237,402円です。

## ③ 分配金の計算過程

項 目	2017年11月7日～ 2018年1月5日	2018年1月6日～ 2018年3月5日	2018年3月6日～ 2018年5月7日
費用控除後の配当等収益額	5,319,289円	2,586,508円	3,829,613円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	－円	－円	－円
収益調整金額	82,811,266円	83,418,597円	83,931,858円
分配準備積立金額	166,384,240円	159,148,345円	148,957,120円
当ファンドの分配対象収益額	254,514,795円	245,153,450円	236,718,591円
1万口当たり収益分配対象額	1,073円	1,034円	1,001円
1万口当たり分配金額	50円	50円	50円
収益分配金金額	11,850,897円	11,844,631円	11,821,616円

## ○分配金のお知らせ

	第116期	第117期	第118期
1万円当たり分配金（税込み）	50円	50円	50円

◆分配金を再投資される方のお手取分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。

### ◆課税上の取り扱い

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。
- ・分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・個人受益者が支払いを受ける収益分配金のうち普通分配金については配当所得として課税され、原則として、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収（申告不要）されます。確定申告を行い、総合課税・申告分離課税を選択することもできます。

※法人受益者に対する課税は異なります。

※課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

※税法が改正された場合等には、上記内容が変更になることがあります。

※NISAおよびジュニアNISAをご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。

\*三菱UFJ国際投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ (<https://www.am.mufg.jp/>) をご覧ください。

### 【お知らせ】

- ①当社ホームページアドレス変更に伴う記載変更を行うため電子公告のアドレスを変更し、信託約款に所要の変更を行いました。  
(変更前(旧) <http://www.am.mufg.jp/> → 変更後(新) <https://www.am.mufg.jp/>)  
(2018年1月1日)
- ②本資料内における旧シティ債券インデックスは、ブランド変更に伴い、FTSE債券インデックスの名称に変更しています。
- ③2014年1月1日から、2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%（法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。））の税率が適用されます。

## ユーロ・ソブリン・オープン マザーファンド

《第171期》決算日2017年12月5日      《第174期》決算日2018年3月5日  
 《第172期》決算日2018年1月5日      《第175期》決算日2018年4月5日  
 《第173期》決算日2018年2月5日      《第176期》決算日2018年5月7日

[計算期間：2017年11月7日～2018年5月7日]

「ユーロ・ソブリン・オープン マザーファンド」は、5月7日に第176期の決算を行いました。  
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第171期～第176期の運用状況をご報告申し上げます。

運 用 方 針	高水準かつ安定的なインカム・ゲインの確保とともに信託財産の成長をはかることを目的として運用を行います。
主 要 運 用 対 象	EU加盟国の信用度の高い（A格以上）公社債
主 な 組 入 制 限	外貨建資産への投資は、制限を設けません。

○最近30期の運用実績

決算期	基準価額		FTSE 欧州世界国債 インデックス (円ベース)		債 組 入 比 率 %	債 先 物 比 率 %	純 資 産 額 百万円
	円	騰落率 %	騰落率 %	騰落率 %			
147期(2015年12月7日)	22,739	1.1	655.74	1.0	96.7	—	2,038
148期(2016年1月5日)	21,963	△3.4	631.48	△3.7	97.7	—	1,932
149期(2016年2月5日)	22,579	2.8	647.81	2.6	96.3	—	1,985
150期(2016年3月7日)	21,676	△4.0	621.70	△4.0	97.1	—	1,884
151期(2016年4月5日)	22,038	1.7	633.93	2.0	97.0	—	1,916
152期(2016年5月6日)	21,298	△3.4	609.72	△3.8	97.7	—	1,831
153期(2016年6月6日)	21,291	△0.0	610.30	0.1	97.5	—	1,825
154期(2016年7月5日)	20,250	△4.9	584.22	△4.3	97.4	—	1,707
155期(2016年8月5日)	20,136	△0.6	579.49	△0.8	97.3	—	1,700
156期(2016年9月5日)	20,747	3.0	597.34	3.1	97.2	—	1,730
157期(2016年10月5日)	20,456	△1.4	585.95	△1.9	96.5	—	1,698
158期(2016年11月7日)	20,076	△1.9	571.88	△2.4	97.0	—	1,631
159期(2016年12月5日)	20,783	3.5	599.99	4.9	96.6	—	1,692
160期(2017年1月5日)	21,142	1.7	607.19	1.2	97.3	—	1,686
161期(2017年2月6日)	20,665	△2.3	590.63	△2.7	97.1	—	1,646
162期(2017年3月6日)	20,766	0.5	594.55	0.7	96.6	—	1,628
163期(2017年4月5日)	20,511	△1.2	583.39	△1.9	97.5	—	1,605
164期(2017年5月8日)	21,416	4.4	612.50	5.0	97.7	—	1,647
165期(2017年6月5日)	21,671	1.2	617.16	0.8	98.2	—	1,633
166期(2017年7月5日)	22,026	1.6	631.96	2.4	97.9	—	1,635
167期(2017年8月7日)	22,475	2.0	643.31	1.8	97.8	—	1,656
168期(2017年9月5日)	22,571	0.4	645.17	0.3	97.9	—	1,646
169期(2017年10月5日)	22,806	1.0	653.09	1.2	97.7	—	1,667
170期(2017年11月6日)	23,004	0.9	661.53	1.3	97.2	—	1,628
171期(2017年12月5日)	23,281	1.2	669.84	1.3	97.5	—	1,642
172期(2018年1月5日)	23,631	1.5	676.29	1.0	97.8	—	1,642
173期(2018年2月5日)	23,419	△0.9	677.24	0.1	97.4	—	1,628
174期(2018年3月5日)	22,407	△4.3	642.91	△5.1	97.5	—	1,541
175期(2018年4月5日)	22,902	2.2	660.36	2.7	97.7	—	1,575
176期(2018年5月7日)	22,561	△1.5	651.77	△1.3	97.1	—	1,532

(注) FTSE 欧州世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、欧州主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額比率で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

(注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。



○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年 月 日	基準 価 額		F T S E 欧州世界国債 インデックス (円ベース)		債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率
		騰 落 率	騰 落 率				
第171期	(期 首) 2017年11月6日	円 23,004	% —	661.53	% —	% 97.2	% —
	11月末	23,062	0.3	661.40	△0.0	97.4	—
	(期 末) 2017年12月5日	23,281	1.2	669.84	1.3	97.5	—
第172期	(期 首) 2017年12月5日	23,281	—	669.84	—	97.5	—
	12月末	23,434	0.7	670.65	0.1	98.1	—
	(期 末) 2018年1月5日	23,631	1.5	676.29	1.0	97.8	—
第173期	(期 首) 2018年1月5日	23,631	—	676.29	—	97.8	—
	1月末	23,204	△1.8	667.85	△1.2	97.6	—
	(期 末) 2018年2月5日	23,419	△0.9	677.24	0.1	97.4	—
第174期	(期 首) 2018年2月5日	23,419	—	677.24	—	97.4	—
	2月末	22,567	△3.6	650.85	△3.9	97.5	—
	(期 末) 2018年3月5日	22,407	△4.3	642.91	△5.1	97.5	—
第175期	(期 首) 2018年3月5日	22,407	—	642.91	—	97.5	—
	3月末	22,768	1.6	658.80	2.5	97.2	—
	(期 末) 2018年4月5日	22,902	2.2	660.36	2.7	97.7	—
第176期	(期 首) 2018年4月5日	22,902	—	660.36	—	97.7	—
	4月末	22,940	0.2	663.76	0.5	96.4	—
	(期 末) 2018年5月7日	22,561	△1.5	651.77	△1.3	97.1	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

## ○運用経過

### ●当作成期中の基準価額等の推移について

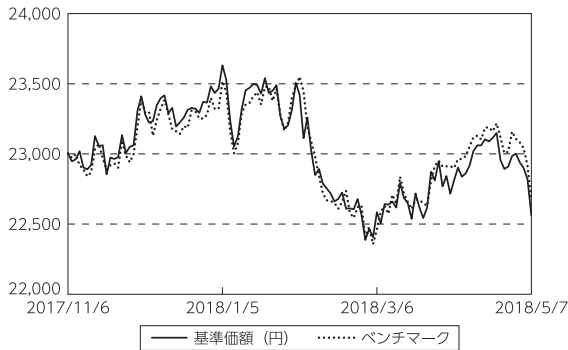
#### ◎基準価額の動き

基準価額は当作成期首に比べ1.9%の下落となりました。

#### ◎ベンチマークとの差異

ファンドの騰落率は、ベンチマークの騰落率(−1.5%)を0.4%下回りました。

基準価額等の推移



(注) ベンチマークは作成期首の値をファンド基準価額と同一になるよう指数化しています。

## ●投資環境について

### ◎欧州債券市況

・ドイツやイギリスの長期金利は上昇しました。  
ドイツやイギリスの長期金利は、2017年12月にかけて概ね横ばいで推移していましたが、2018年1月に、欧州中央銀行(ECB)が開催した2017年12月の理事会の議事内容が公表され、現行の資産購入プログラム(APP)や政策金利のガイダンスを早期に変更する可能性が議論されたと市場が受け止めたことなどから、上昇に転じました。その後、2018年2月に公表された1月のECB理事会の議事録の内容や、3月に開催されたECB理事会において、インフレ見通しに対して慎重な姿勢が示され、現行の緩和的な金融政策を忍耐強く維持する方針が確認で

きたことなどから、ドイツやイギリスの長期金利は低下に転じたものの、作成期を通じてみると、ドイツやイギリスの長期金利は上昇しました。

### ◎為替市況

・ユーロや英ポンドは対円で下落しました。  
ユーロや英ポンドは、2018年1月の金利上昇局面において、本邦との金利差が拡大したことなどから対円で上昇しました。その後、2月に世界的に株価などの資産価格が大きく下落し、投資家のリスクセンチメントが悪化したことなどを受けて、対円で下落しました。結果、作成期を通じてみると、ユーロや英ポンドは対円で下落しました。

### ●当該投資信託のポートフォリオについて

・EU加盟国の国債・政府保証債、事業債等、信用度の高い公社債(A格以上)を主要投資対象とし、これらの債券を高位に組み入れて運用を行いました。

### ◎国別資産配分

・作成期を通じて、相対的に高い金利水準にあると判断したポーランドをベンチマーク比オーバーウェイトとした一方、ドイツなどを同アンダーウェイトで維持しました。  
・また、2018年3月下旬に、大手格付会社がスペインの自国通貨建て長期債務格付を「BBB+」から「A-」に引き上げたことに伴い、4月以降、スペイン国債の組み入れを再開しました。

### ◎デュレーション（金利感応度）

- ・2017年11月にかけては、ECBによる緩和的な金融政策の継続を見込み、ファンドのデュレーションをベンチマーク比長めとしました。その後、欧州長期金利の低下を受けて、12月に、ファンドのデュレーションをベンチマーク比長めから中立に変更しました。

#### ※デュレーション

「金利変動に対する債券価格の変動性」を示すもので、債券はデュレーションが大きいほど、金利変動に対する価格の変動が大きくなる傾向があります。

### ◎為替取引

- ・作成期首は、景気が底堅く推移していることなどから、6.9%程度のユーロ及び0.5%程度のスウェーデンクローネ買い、EU離脱を巡る不透明感などから5.0%程度の英ポンド売り、2.5%程度のポーランドズロチ売りとしました。
- ・作成期末は、イギリスのEUからの強硬離脱に対する懸念が和らいだことなどを背景に、3.9%程度の英ポンド買い、1.7%程度のユーロ買いとした一方、5.6%程度のポーランドズロチ売りとしました。

### ◎信用格付

- ・信用度の高いA格以上の公社債を主要投資対象としています。
- ・前記の運用を行った結果、ユーロ・英ポンドが対円で下落したことや、ドイツやイギリスなどの金利が上昇したことなどから、基準価額は下落しました。

### ●当該投資信託のベンチマークとの差異について

- ・基準価額は当作成期首に比べ、1.9%の下落となり、ベンチマークの騰落率（-1.5%）を0.4%下回りました。
- ・2017年12月にかけてポーランドズロチが対円で上昇するなか、ポーランドズロチをベンチマーク比オーバーウェイトとしていたことなどがプラスに寄与しました。

- ・作成期を通じてイタリア国債やスペイン国債のドイツ国債に対する金利スプレッド（利回り格差）が縮小したなか、作成期を通じてイタリアを非保有としたこと、また2018年3月までスペインを非保有としたことなどがマイナスに影響しました。

### ◎今後の運用方針

#### ◎運用環境の見通し

- ・当面の欧州長期金利は概ねもみ合う展開が想定されます。欧州では、景気は底堅く推移している一方で、賃金上昇圧力が限定的なため、今後もインフレ圧力は抑制されるものと考えます。また、ECBは引き続き現行の緩和的な金融政策方針を維持し、債券市場の需給環境は良好なことが見込まれます。また、当面のイギリス長期金利は概ねもみ合う展開が想定されます。イギリスでは、賃金上昇圧力の高まり等を背景に、利上げ観測が高まりやすい状況にあります。一方で、EU離脱交渉の動向によっては、金融政策の見通しに変化する可能性もある点には留意が必要だと考えます。
- ・為替市場では、ユーロ圏の景気が底堅く推移していることなどから、ユーロは対円で概ね堅調に推移すると考えます。また、英ポンドについては、EU離脱交渉の動向などはリスク要因となるものの、利上げ期待等を背景に、対円で底堅い推移が期待されます。

### ◎今後の運用方針

#### 国別資産配分

- ・現行の方針を基本に、各国の景気動向や財政状況、政治動向、政策対応などを重視した国・銘柄選別に注力します。
- ・ソブリン債以外では、事業債に関しては取り巻く環境等を勘案し、ウェイトを調整する方針です。

#### デュレーション

- ・前記の運用環境の見通しに基づき、長期金利への影響が大きい景気その他の諸条件を考慮し、デュレーションなどのコントロールを行います。

#### 為替取引

- ・引き続き、今後の為替動向を見極め、機動的にポジションを構築していく方針です。

#### 信用格付

- ・引き続き、投資環境を見極め、信用格付けの高い銘柄を中心に組み入れていく方針です。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2017年11月7日～2018年5月7日)

項 目	第171期～第176期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用 ( 保 管 費 用 )	円 5 (5)	% 0.020 (0.020)	(a)その他費用＝作成期中のその他費用÷作成期中の平均受益権口数  有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
合 計	5	0.020	
作成期中の平均基準価額は、22,995円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○ 売買及び取引の状況

(2017年11月7日～2018年5月7日)

公社債

			第171期～第176期	
			買 付 額	売 付 額
外	ユーロ		千ユーロ	千ユーロ
	ドイツ	国債証券	177	665
	フランス	国債証券	2,203	3,236
	オランダ	国債証券	—	112
		社債券	—	172
	スペイン	国債証券	3,172	282
	ベルギー	国債証券	556	1,166
	アイルランド	国債証券	149	210
		社債券	—	447
	国際機関	特殊債券	—	221
国	イギリス	千イギリスポンド	千イギリスポンド	
		国債証券	956	1,159
	スウェーデン	千スウェーデンクローネ	千スウェーデンクローネ	
		国債証券	1,174	130
ポーランド	千ポーランドズロチ	千ポーランドズロチ		
	国債証券	2,549	2,530	

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) 社債券には新株予約権付社債（転換社債）は含まれておりません。

○利害関係人との取引状況等

(2017年11月7日～2018年5月7日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2018年5月7日現在)

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	第176期末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
ユーロ	千ユーロ	千ユーロ	千円	%	%	%	%	%
ドイツ	620	665	86,708	5.7	—	2.9	0.7	2.1
フランス	2,450	2,550	332,331	21.7	—	14.5	6.2	0.9
オランダ	450	516	67,264	4.4	—	—	4.4	—
スペイン	2,690	2,860	372,808	24.3	—	16.3	8.0	—
ベルギー	410	408	53,249	3.5	—	3.5	—	—
アイルランド	300	303	39,545	2.6	—	2.6	—	—
国際機関	1,100	1,259	164,107	10.7	—	10.7	—	—
イギリス	200	203	26,573	1.7	—	—	—	1.7
イギリス	千イギリスポンド	千イギリスポンド						
	1,085	1,462	215,800	14.1	—	14.1	—	—
スウェーデン	千スウェーデンクローネ	千スウェーデンクローネ						
	1,370	1,637	20,257	1.3	—	0.9	0.5	—
ポーランド	千ポーランドズロチ	千ポーランドズロチ						
	3,550	3,559	109,343	7.1	—	1.0	5.1	1.1
合 計	—	—	1,487,990	97.1	—	66.3	24.9	5.8

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B)外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄			第176期末				償還年月日
			利率	額面金額	評価額		
					外貨建金額	邦貨換算金額	
ユーロ			%	千ユーロ	千ユーロ	千円	
ドイツ	国債証券	0 SCHATS 190315	—	240	241	31,448	2019/3/15
		0.5 BUND 280215	0.5	180	179	23,366	2028/2/15
		2.25 BUND 210904	2.25	80	87	11,342	2021/9/4
		2.5 BUND 460815	2.5	120	157	20,551	2046/8/15
フランス	国債証券	0 O.A.T 220525	—	70	70	9,172	2022/5/25
		0.5 O.A.T 260525	0.5	500	500	65,170	2026/5/25
		0.75 O.A.T 280525	0.75	650	648	84,498	2028/5/25
		1 O.A.T 181125	1.0	110	110	14,459	2018/11/25
		1.75 O.A.T 390625	1.75	240	255	33,311	2039/6/25
		2 O.A.T 480525	2.0	280	303	39,528	2048/5/25
	普通社債券	1.375 GDF SUEZ 200519	1.375	300	308	40,205	2020/5/19
		4.25 BPCE SA 230206	4.25	300	352	45,986	2023/2/6
オランダ	普通社債券	4.125 ABN AMRO BA 220328	4.125	450	516	67,264	2022/3/28
スペイン	国債証券	0.45 SPAIN GOVT 221031	0.45	200	202	26,373	2022/10/31
		1.15 SPAIN GOVT 200730	1.15	720	742	96,826	2020/7/30
		1.4 SPAIN GOVT 280430	1.4	350	353	46,124	2028/4/30
		1.6 SPAIN GOVT 250430	1.6	350	370	48,272	2025/4/30
		1.95 SPAIN GOVT 300730	1.95	200	208	27,221	2030/7/30
		2.75 SPAIN GOVT 241031	2.75	550	624	81,320	2024/10/31
		2.9 SPAIN GOVT 461031	2.9	320	358	46,668	2046/10/31
ベルギー	国債証券	0.8 BEL GOVT 280622	0.8	240	239	31,244	2028/6/22
		1.6 BEL GOVT 470622	1.6	170	168	22,004	2047/6/22
アイルランド	国債証券	0.9 IRISH GOVT 280515	0.9	150	149	19,444	2028/5/15
		1.7 IRISH GOVT 370515	1.7	150	154	20,101	2037/5/15
国際機関	特殊債券	2.125 EFSF 240219	2.125	400	443	57,794	2024/2/19
		2.5 EUROPEAN U 271104	2.5	700	815	106,312	2027/11/4
イギリス	普通社債券	3.875 HSBC BANK 181024	3.875	200	203	26,573	2018/10/24
小計						1,142,588	
イギリス	国債証券	1.25 GILT 270722	1.25	300	295	43,574	2027/7/22
		4.25 GILT 461207	4.25	485	745	109,912	2046/12/7
		6 EIB 281207	6.0	300	422	62,313	2028/12/7
小計						215,800	
スウェーデン	国債証券	0.75 SWD GOVT 280512	0.75	370	372	4,611	2028/5/12
		3.5 SWD GOVT 390330	3.5	500	700	8,666	2039/3/30
		5 EIB 201201	5.0	500	564	6,979	2020/12/1
小計						20,257	
ポーランド	国債証券	2.5 POLAND 230125	2.5	2,000	2,005	61,618	2023/1/25
		2.5 POLAND 270725	2.5	500	475	14,600	2027/7/25
		POLAND 190425	—	550	543	16,685	2019/4/25
	特殊債券	4.25 EIB 221025	4.25	500	535	16,438	2022/10/25
小計						109,343	
合計						1,487,990	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

○投資信託財産の構成

(2018年5月7日現在)

項 目	第176期末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 1,487,990	% 93.4
コール・ローン等、その他	104,890	6.6
投資信託財産総額	1,592,880	100.0

(注) 作成期末における外貨建純資産 (1,523,097千円) の投資信託財産総額 (1,592,880千円) に対する比率は95.6%です。

(注) 外貨建資産は、作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、作成期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=108.95円	1 ユーロ=130.32円	1 イギリスポンド=147.53円	1 スウェーデンクローネ=12.37円
1 ポーランドズロチ=30.72円			

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第171期末	第172期末	第173期末	第174期末	第175期末	第176期末
	2017年12月5日現在	2018年1月5日現在	2018年2月5日現在	2018年3月5日現在	2018年4月5日現在	2018年5月7日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	1,825,845,726	1,795,118,417	1,748,941,343	1,658,874,556	2,342,308,576	1,765,655,888
コール・ローン等	23,386,300	17,763,010	22,320,464	20,114,428	33,614,797	30,748,238
公社債(評価額)	1,600,927,296	1,606,662,045	1,585,482,792	1,502,272,548	1,539,498,778	1,487,990,472
未収入金	182,491,477	152,620,484	120,335,398	118,060,266	757,976,735	233,606,094
未収利息	17,298,531	16,442,299	19,184,672	16,495,189	9,033,652	7,994,583
前払費用	1,728,263	1,616,431	1,603,817	1,918,612	2,170,990	5,302,971
差入委託証拠金	13,859	14,148	14,200	13,513	13,624	13,530
(B) 負債	183,518,091	153,006,764	120,918,340	117,652,781	766,367,052	232,998,884
未払金	182,785,131	152,745,729	120,652,182	117,650,975	766,275,733	232,984,069
未払解約金	732,946	261,011	266,134	1,790	91,301	14,798
未払利息	14	24	24	16	18	17
(C) 純資産総額(A-B)	1,642,327,635	1,642,111,653	1,628,023,003	1,541,221,775	1,575,941,524	1,532,657,004
元本	705,429,308	694,891,891	695,162,582	687,819,236	688,127,500	679,346,826
次期繰越損益金	936,898,327	947,219,762	932,860,421	853,402,539	887,814,024	853,310,178
(D) 受益権総口数	705,429,308口	694,891,891口	695,162,582口	687,819,236口	688,127,500口	679,346,826口
1万口当たり基準価額(C/D)	23,281円	23,631円	23,419円	22,407円	22,902円	22,561円



○損益の状況

項 目	第171期	第172期	第173期	第174期	第175期	第176期
	2017年11月7日～ 2017年12月5日	2017年12月6日～ 2018年1月5日	2018年1月6日～ 2018年2月5日	2018年2月6日～ 2018年3月5日	2018年3月6日～ 2018年4月5日	2018年4月6日～ 2018年5月7日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	2,827,121	3,017,907	3,018,139	2,591,852	2,810,043	2,600,345
受取利息	2,827,837	3,018,547	3,019,031	2,592,432	2,810,746	2,600,895
支払利息	△ 716	△ 640	△ 892	△ 580	△ 703	△ 550
(B) 有価証券売買損益	16,825,272	21,475,769	△ 17,771,322	△ 72,691,424	31,315,679	△ 25,640,497
売買益	22,099,279	37,990,122	12,151,914	13,873,367	38,428,081	2,885,634
売買損	△ 5,274,007	△ 16,514,353	△ 29,923,236	△ 86,564,791	△ 7,112,402	△ 28,526,131
(C) 保管費用等	△ 82,260	△ 77,188	△ 42,835	△ 33,024	△ 28,030	△ 50,613
(D) 当期損益金(A+B+C)	19,570,133	24,416,488	△ 14,796,018	△ 70,132,596	34,097,692	△ 23,090,765
(E) 前期繰越損益金	920,675,636	936,898,327	947,219,762	932,860,421	853,402,539	887,814,024
(F) 追加信託差損益金	3,704,610	2,499,860	3,633,794	1,950,398	3,741,994	1,975,932
(G) 解約差損益金	△ 7,052,052	△ 16,594,913	△ 3,197,117	△ 11,275,684	△ 3,428,201	△ 13,389,013
(H) 計(D+E+F+G)	936,898,327	947,219,762	932,860,421	853,402,539	887,814,024	853,310,178
次期繰越損益金(H)	936,898,327	947,219,762	932,860,421	853,402,539	887,814,024	853,310,178

(注) (B)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) (G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項>

- ①作成期首（前作成期末）元本額 708,015,855円  
 作成期中追加設定元本額 13,493,377円  
 作成期中一部解約元本額 42,162,406円  
 また、1口当たり純資産額は、作成期末2,2561円です。
- ②作成期末における元本の内訳（当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額）  
 ユーロ・ソブリン・オープン 670,838,904円  
 ユーロ・ソブリン・オープン V A（適格機関投資家専用） 8,507,922円  
 合計 679,346,826円

【お知らせ】

- ①当社ホームページアドレス変更に伴う記載変更を行うため電子公告のアドレスを変更し、信託約款に所要の変更を行いました。  
 (変更前(旧) <http://www.am.mufg.jp/> → 変更後(新) <https://www.am.mufg.jp/>)  
 (2018年1月1日)
- ②本資料内における旧シティ債券インデックスは、ブランド変更に伴い、F T S E債券インデックスの名称に変更しています。